

画像	説明
	<p>イリアス 上 (岩波文庫) ホメロス (著), 松平 千秋 (翻訳) ¥ 840 (税込)</p> <p>トロイア戦争の末期、物語はギリシア軍第一の勇将アキレウスと王アガ멤ノンの、火を吐くような舌戦に始まる。激情家で心優しいアキレウス、その親友パトロクロス、トロイア軍の大將ヘクトルら、勇士たちの騎士道的な戦いと死を描く大英雄叙事詩。</p>
	<p>イリアス 下 (岩波文庫) ホメロス (著), 松平 千秋 (翻訳) ¥ 903 (税込)</p> <p>第13歌から第24歌まで。勇将アキレウスを欠き苦戦するギリシア軍。アキレウスの武具を借りて一時はトロイア軍を敗走させたパトロクロスも敵将ヘクトルに討たれる。死を覚悟して復讐戦に立ち上がるアキレウス。伝ヘロドトス作「ホメロス伝」を併載。</p>
	<p>オデュッセイア 上 (岩波文庫) ホメロス (著), 松平 千秋 (翻訳) ¥ 798 (税込)</p> <p>トロイア戦争が終結。英雄オデュッセウスは故国イタケへの帰途、嵐に襲われて漂流し、さらに10年にわたる冒険が始まる。ヨーロッパ文学の源泉、ギリシア最古の大英雄叙事詩。94年刊のワイド版。</p>
	<p>オデュッセイア 下 (岩波文庫) ホメロス (著), 松平 千秋 (翻訳) ¥ 735 (税込)</p> <p>同上</p>
	<p>ギリシャ神話集 (講談社学術文庫) ヒュギーヌス (著), 松田 治 (翻訳), 青山 照男 (翻訳) ¥ 1,208 (税込)</p> <p>紀元後2世紀頃、ローマの一般大衆へギリシャの神話世界を伝えるために編まれた、277話からなる神話集。壮大なギリシャ神話の全容を網羅的に扱うためか、神話の骨子や人物の事績等がきわめて簡潔に綴られていて、作者は事典的性格を意図したものと推測される。作者のみが伝える神話要素も含み、ギリシャ神話の研究者・愛好家必読の書。本邦初訳。</p>
	<p>ギリシア神話 上 (新潮文庫 く 6-1) 呉 茂一 ¥ 700 (税込)</p> <p>ヨーロッパ文化発祥の地に生まれて、文学や美術に影響を与え続けてきたギリシア神話の内容を概説、学問的研究を平明に書き下ろしたロングセラーの名著。</p>
	<p>ギリシア神話 下 (新潮文庫 く 6-2) 呉 茂一 ¥ 620 (税込)</p> <p>同上</p>
	<p>ホメロスを楽しむために (新潮文庫) 阿刀田 高 ¥ 580 (税込)</p> <p>ギリシャに生れた盲目の吟遊詩人ホメロスの世界が、阿刀田魔術で生き生きと目前に広がります。イリアス、オデュッセウス、ポセイドン、トロイア戦争 著者の名解説を聞きながらのギリシャ周遊パック旅行のような、至れり尽せりの入門書。今までは読みたくても手が出せなかった西洋文学古典中の古典のエキスが、苦もなく手に入る大好評シリーズ第6弾。楽しいイラストも増量しました。</p>



[私のギリシャ神話 \(集英社文庫\)](#) 阿刀田 高 ¥ 900 (税込)

ヘラクレスやアプロディテなどお馴染みの神々のエピソードを足がかりに、広大なギリシャ神話の世界にアプローチ。名画や彫刻のカラー図版満載、面白くて美しい驚異的入門エッセイ。(解説・宮田稔栄)

[オデュッセウスの世界](#) M.I. フィンリー (著), 下田 立行 (翻訳) ¥ 795より



イギリスの歴史家フィンリー(1912-86)の、明快で読みものとしても楽しめるギリシア古代史入門。社会学、人類学の成果を踏まえ、二大叙事詩『イリアス』『オデュッセイア』を詳細に読みこむことによって、ギリシア古代がどのような社会であったかを説き明かし、新しいホメロス学の方法を提起したものとして大きな反響を呼んだ。

[『オデュッセイア』を楽しく読む](#) ルチャーノ デクレシェンツォ (著), 草皆 伸子 (翻訳) ¥ 452より



イタリアのベストセラー作家が、ホメロスの名作を愛情をこめて解説する。時には大ぼらを吹き、時には狡猾な企みを巡らして、難局を切り抜けるオデュッセウスの冒険をたのしく語る。

[ギリシア・ローマ神話辞典](#) 高津 春繁 ¥ 3,150 (税込)



ギリシアおよびローマの神話と英雄伝説を小項目方式で集成。約二千の見出し語を収録し、複雑なギリシア・ローマの神話と伝説を簡潔に説明。西洋の文学や美術に関心をもつ人の座右の書。

[ギリシア神話 \(岩波文庫\)](#) アポロドーロス (著), 高津 春繁 (翻訳) ¥ 693 (税込)



従来紹介されてきたギリシア神話は、後のヘレニズム時代の感傷主義の影響を受けた甘美な物語が多い。アポロドーロスが伝える神話伝説は、古いギリシアの著述を典拠とした、いわばギリシア神話の原典というべきもの。

[ギリシア神話 \(単行本\)](#) フェリックス ギラン (著), 中島 健 (翻訳) ¥ 1,890 (税込)



ホメーロス以来多くの詩人や芸術家、学者たちにとりあつかわれ、歴史のやすりに磨かれ、内容の転変を経て、今日では、人間存在の根底に深い洞察をもつ、人類の巨大な文学的遺産となったギリシア神話のすべて。

[ギリシア・ローマ神話 付インド・北欧神話 \(岩波文庫\)](#) ブルフィンチ (著), Thomas Bulfinch (原著), 野上 弥生子 (翻訳) ¥ 840 (税込)



西欧の文化芸術に親しもうとするものにとってギリシア・ローマ神話の知識は欠かすことができない。神々と人間の豊かで興味つきぬ世界を描いたブルフィンチ(一七九六-一八七六)のこの書物は、世代を問わず、ギリシア・ローマ神話への手引きとして絶好の一冊である。

[完訳 ギリシア・ローマ神話 上 \(角川文庫\)](#) トマス ブルフィンチ (著), Thomas Bulfinch (原著), 大久保 博 (翻訳) ¥ 660 (税込)



すべての大いなる物語は、ここに通じる。西欧文化の源流である、さまざまな神話や伝説。現代に息づくその精神の真髄を平易な訳で、親しみやすく紹介する。ヘラクレスって誰?アポローンって何の神さま?などなど今さら聞けない神話の成り立ちから、人間味溢れるオリュンポスの神々の恋や嫉妬、名誉をかけた戦いまで、めくるめく壮大な物語がぎっしりとつまった、人類の遺産。

[完訳 ギリシア・ローマ神話 下 \(角川文庫\)](#) トマス ブルフィンチ (著), Thomas Bulfinch (原著), 大久保 博 (翻訳) ¥ 580 (税込)



トロイア戦争はどのように起こったのか?数々の詩や絵画のモチーフにもなったパリスの審判をはじめ、名将アキレウスの活躍や、その後のオデュッセウスの冒険まで、神々をも二分して繰り広げられる胸躍る勇者の物語を、細部まであまざず綴る。充実した索引と、より深く神話の世界に親しむための読書案内を付し、東洋や北欧の神話までを網羅した、決定版完訳。

[アガ멤ノン \(岩波文庫\)](#) アISKYロス (著), Aeschylus (著), 久保 正彰 (著) ¥ 588 (税込)



トロイア戦争のギリシア側の総大将アガ멤ノンは、苦節10年の末ついにトロイアの都イーリオンを攻略し、ようやく帰還した。しかしそこで彼を待ち受けていたのは、留守の間に不義を重ねていた王妃クリュタイメストラと、父アトレウスの王位継承権争いに始まる、一家の血にまみれ呪われた運命であった。新訳。

[ギリシア悲劇 \(1\) アISKYロス \(ちくま文庫\)](#) アISKYロス (著), 高津 春繁 (翻訳) ¥ 945 (税込)



ゼウスと激突する「縛られたプロメテウス」、神話でなく当時の逸話を題材にした「ペルシア人」、完全な形で現存する唯一の三部作形式のギリシア悲劇「オresteia」、オイディプスの説話から題材を得た「テーバイ攻めの七将」、「救いを求める女たち」、多作だったアISKYロスの現存する劇すべてを収録。

[ギリシア悲劇 2 ソポクレス \(ちくま文庫\)](#) ソポクレス (著), 松平 千秋 (翻訳) ¥ 1,050 (税込)



ソポクレス 496B.C.~406B.C.アISKYロス、エウリピデスとならんだギリシア三大悲劇詩人の一人。アISKYロスに30年おくらせてアテナイ郊外に生まれた。父は富裕な騎士階級の人であった。きわめて多作の人で、生涯に123の劇を作ったと伝えられる(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

[ギリシア悲劇 3 エウリピデス 上 \(ちくま文庫\)](#) エウリピデス (著), 松平 千秋 (翻訳) ¥ 1,260 (税込)



エウリピデス 480B.C.~406B.C.アISKYロス、ソポクレスとならんだギリシア三大悲劇詩人の一人。アテナイの名門に生まれ、25歳~30歳で劇壇にデビュー。その活動は半世紀に及び、ソポクレスとともにアテナイ劇壇の重鎮であった。生涯の作品数は75篇とも80篇ともいわれる。晩年、マケドニアの王アルケラオスに招かれ、その地で客死した(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

[ギリシア悲劇 4 /エウリピデス 下 \(ちくま文庫\)](#) 松平 千秋 (翻訳) ¥ 1,260 (税込)



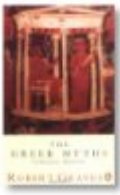
ギリシア悲劇全4巻完結!「エレクトラ」「バッコスの信女」他7篇。

[ギリシア神話 \(単行本\)](#) ロバート グレイヴズ (著), Robert Graves (原著), 高杉 一郎 (翻訳) ¥ 9,800より



血湧き肉躍る、神々の饗宴。ギリシア神話の豊穡な世界を、世界の神話伝承との綿密な比較対照を施しつつ、詩的に叙述する。原著の改訂版を元に、あらたに訳出された決定版。

[The Greek Myths \(ペーパーバック\)](#) Robert Graves (著) ¥ 2,389 (税込)



Endymion, Pelops, Daedalus, Pygmalion -- we recognize the names, but what are the stories behind these and other familiar gods from the Greek pantheon -- names that recur throughout the history of European culture?

Drawing on an enormous range of sources, Robert Graves has brought together elements of these myths in simple narrative form. He retells the adventures of the most important gods and heroes of the ancient Greeks. His work has become the reference for the serious scholar as well as the casual inquirer.

"A brilliant and erudite contemporary interpretation."

[オウィディウス 変身物語 上 \(岩波文庫\)](#) オウィディウス (著), Publius Ovidius Naso (原著), 中村 善也 (翻訳) ¥ 798 (税込)



古代ローマの天成の詩人オウィディウスが、ストーリーテラーとしての手腕を十分に発揮したこの作品には、「ナルキッソスとエコー」など変身を主要モチーフとする物語が大小あわせて250もふくまれている。さながらそれはギリシア・ローマの神話と伝説の一大集成である。ラテン語原典の語り口をみごとに移しえた散文訳。

[オウィディウス 変身物語 下 \(岩波文庫\)](#) オウィディウス (著), Publius Ovidius Naso (原著), 中村 善也 (翻訳) ¥ 798 (税込)



もの音ひとつしない静寂のなか、おぼろな靄に包まれた、峻しい、暗い坂道を、ふたりはたどっていた。もう地表に近づいているあたりだったが、妻の力が尽きはしないかと、オルペウスは心配になった。そうすると、無性に見たくなる。愛がそうさせたということになるが、とうとう、うしろを振りかえった。と、たちまち... (「オルペウスとエウリュディケ」から)。

[神統記 \(岩波文庫 赤 107-1\)](#) ヘシオドス (著), 廣川 洋一 (翻訳) ¥ 588 (税込)



ホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』と並ぶギリシア神話最古の原典です。ホメロスが英雄物語を語るのに対し、ヘシオドスは『神統記』の名の通り、神々の系譜を整理して、詩的に述べることに重点を置いています。

[ギリシア神話 \(文庫クセジュ \(726\)\) \(新書\)](#) ピエール・グリマル (著), 高津 春繁 (訳) ¥ 999 (税込)



ギリシア神話の知識は、ヨーロッパ文学を読む場合には欠くことのできないものだとして古くからいわれている。この本にはギリシア神話の話にはじまり、神話学の変遷の歴史から、現代にいたるまでの神話解釈法までが、要領よくわかりやすくまとめている。豊富な材料を駆使し、ギリシア神話の世界を手際よく語っている。

[ギリシアの神話 \(神々の時代\) \(文庫\)](#) カール・ケレーニイ (著), 植田兼義 (著) ¥ 294より

コメントなし

[ギリシアの神話 \(英雄の時代\) \(文庫\)](#) カール・ケレーニイ (著), 植田兼義 (著) ¥ 474より

コメントなし

[ディオドロス「神代地誌」 \(-\)](#) ポンポニウス メラ (著), デイオドロス (著), プルタルコス (著), 飯尾 都人 (翻訳) ¥ 26,250 (税込)

紀元前1世紀のギリシアの歴史家ディオドロスの「神代地誌」全40巻中最初の6巻を収める。その他、ポンポニウス・メラの地理書「世界地理」と、神の観念をテーマにしたプルタルコスの「イシスとオシリス」を併録。